

別紙 1

海洋に捨てようとする海洋施設の概要

- (1) 廃棄対象海洋施設の名称
洋上風況観測塔
- (2) 当該海洋施設の用途
青森県北津軽郡中泊町小泊沖合の風況（風速、風向）の計測
- (3) 当該海洋施設の設置位置
41_9_27.50N/140_17_9.60E
(青森県北津軽郡中泊町小泊沖合、小泊漁港から北北西に約 2.8km の地点)
- (4) 当該海洋施設の廃棄に至るまでの経緯及び廃止の時期
<廃棄に至るまでの経緯>
洋上風況観測塔による観測期間が終了したため、当初本海洋施設の全撤去・陸上処分を計画していたが、海底下に打ち込んだ基礎モノパイルの撤去作業に伴って発生する濁り及び作業により生ずる海底の攪乱による海洋環境への影響が懸念されたことから、海底下 1.0m より上の構造のみ切断撤去の上で陸上処分し、海底 1.0m 以深に打ち込んだ基礎モノパイル部分は埋戻し、海洋へ廃棄する計画を立てたところ、本海洋施設廃棄許可申請を行うに至った。
- <廃止時期の整理>
- ・海洋施設の廃止時期：2025 年 3 月
 - ・第一期工事(主体構造及び海底上 0.5m までの基礎モノパイルの切断撤去及び陸上処分)：2025 年 7 月
 - ・第二期工事(基礎モノパイル上端部(海底上 0.5m～海底下 1.0m)の切断・撤去)：2026 年 7 月(予定)
 - ・一部基礎モノパイルの海洋への廃棄及び埋戻し：2026 年 7 月(予定)
- (5) 廃棄される海洋施設の規模
廃棄される海洋施設の規模および、そのうち海洋へ廃棄される海洋施設の規模、補助部材（フィルターユニット）については、表-1 の通りである。

表-1 廃棄される海洋施設及び補助部材（フィルターユニット）の詳細

主体 構造 (撤去・ 陸上処分 済み)	概 要 図		以下、図-1 の通り
	面積	基準平面面積	39m ² (6.5m×6m)
	支持段数		上部構造 22 段
	高さ	工作物高さ	78.2m
		鉄塔最高部の高さ	D.L +54.2m (避雷針を含めた場合+59.9m)
		基礎天高さ	D.L+14m
		基礎底深さ	D.L -45m
		根入深さ	20.774m (海底面より海底下)
構造種別	上部構造	鉄骨造 4 脚トラス鉄塔、デッキ	
	基礎構造	材質：SM400A (溶接構造用圧延鋼材) 形状：モノパイル (板厚 30mm の鋼板を直径 2m 若しくは 2.8m の筒状に曲げ加工した鋼管柱)	
第二期 工事	第一期工事後の残存基礎モノパイル (図-2) と第二期工事を経た海洋への廃棄部分	令和 7 年 7 月に撤去工事として海底面上 0.5m の部分で主体構造に含まれる基礎モノパイルを切断し、上載部を全撤去・陸上処分した。第二期工事では、第一期工事で上載部を全撤去した後の基礎モノパイル (21.274m) について、海底面上 0.5m から海底下 1.0m までの基礎モノパイル上端部 (1.5m) を切断撤去する。本申請書ではこの第二期工事後の海底下 1.0m 以深の基礎モノパイル (19.774m) の海洋への廃棄を申請する。	
補助部 材 (海洋施 設対象 外)	フィルターユニット (図-3・図-4)	海洋施設設置時の利用目的：根固め及び洗堀防止 ※海洋に廃棄される基礎モノパイルは埋め戻されて平坦化されるが、その後の波による洗堀によって露出されることを防止するため、フィルターユニットを当該基礎モノパイルの上方に設置し再利用するものとする。 設置個数：43 個 設置範囲：モノパイル側面から半径 5.9m～6.6m の範囲 1 個あたり：重量 約 1,000kg、直径 約 2m	

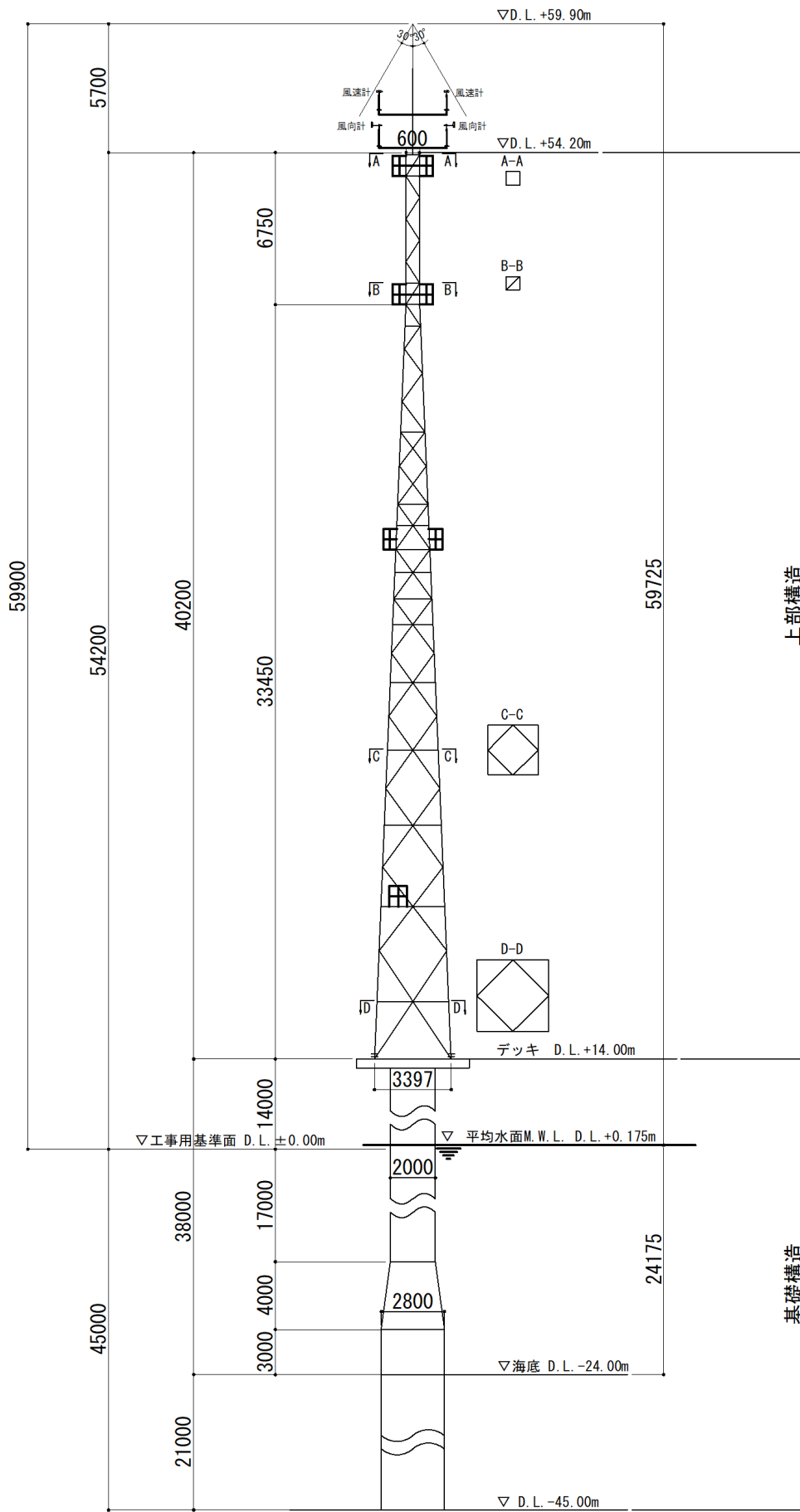


図-1 海洋施設(洋上風況観測塔)の主体構造側面図

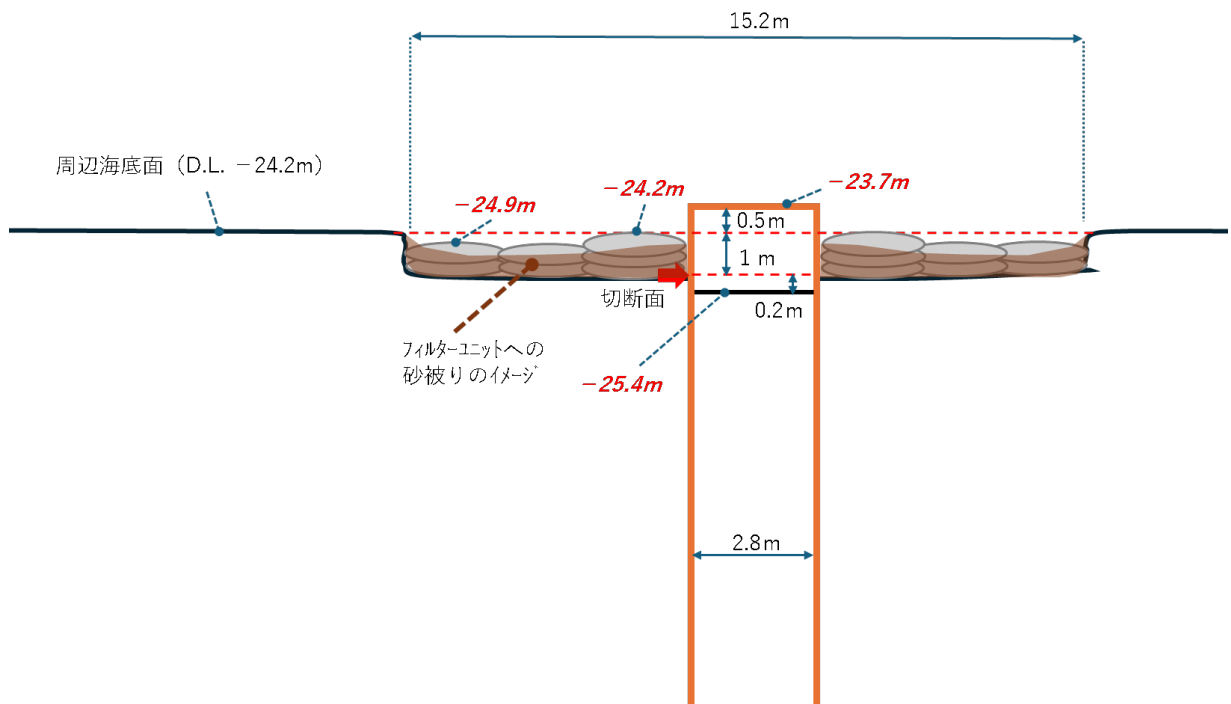
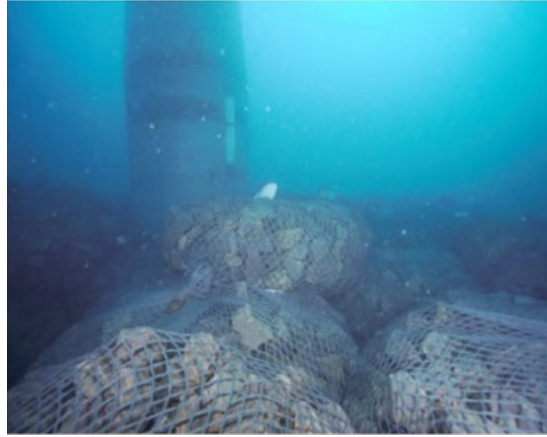


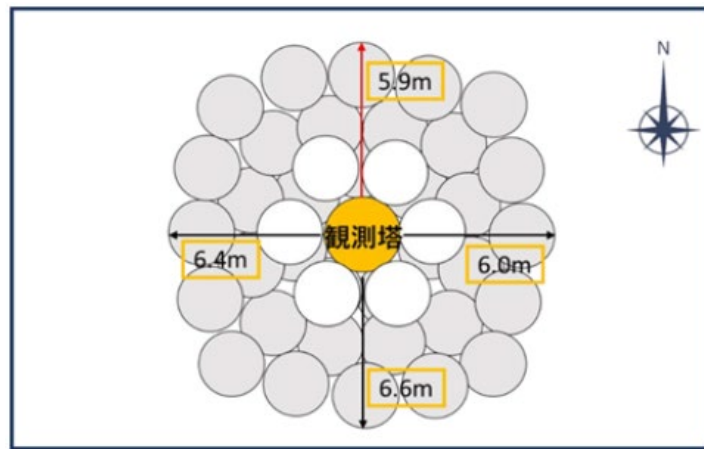
図-2 第二期工事前の基礎モノパイル上端部の状態及び基礎モノパイル海底下打ち込み状態



図-3 補助部材（フィルターユニット）配置状態



切断箇所及びフィルターユニットの現況



フィルターユニット設置平面図

図-4 補助部材（フィルターユニット）外観および設置状態